

令和元年度 事業報告

I 事業推進報告

第1 自主交通安全推進事業(公益目的事業1)

1 交通安全意識向上事業

- (1) 交通安全知識・技術の向上を図ることを目的としたセミナーの開催
交通安全地域指導者セミナーの開催については、内閣府主催の北海道ブロック「令和元年度交通ボランティア等講習会」の開催の意向があり、その内容及び対象者が類似することから単独開催を行わず国の事業への支援を行いました。
○北海道ブロック交通ボランティア等講習会
交通安全活動の実践的指導方法の習得や指導者としての資質の向上を図るため、市町村交通安全推進員、交通安全担当職員等が講習会に参加し、指導技法を習得しました。
・11月21日・22日 札幌市(ホテルポールスター札幌) 56名参加
- (2) 交通安全研修会等への講師の派遣
企業・団体等が開催する交通安全研修会等に、講師として交通安全推進員等を派遣し、交通安全意識の高揚に努めました。
・16回派遣
- (3) 飲酒運転根絶研修
飲酒運転根絶の活動に必要な知識等に精通した人材を育成するため、市町村職員、交通安全推進員、交通安全指導員等を対象に全道10ヶ所(振興局管内)において研修会を開催し、飲酒運転根絶への意識向上並びに啓発活動における参考情報の提供を図りました。

地区	開催月日	参加者数	備考
空知	3月10日	—	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
石狩	2月20日	41名	
後志	3月13日	—	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
胆振	11月26日	100名	
日高	11月7日	79名	
渡島	1月16日	100名	
檜山	12月4日	40名	
上川	2月27日	—	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
留萌	9月19日	120名	
宗谷	11月1日	50名	
オホーツク	11月12日	84名	
十勝	3月19日	—	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため資料の送付
釧路	11月20日	34名	
根室	10月31日	31名	
計		679名	

2 調査・研究事業

- (1) 交通安全推進員の設置
総合振興局・振興局内に設置されている地区交通安全推進協議会事務局に交通安全推進員14名を委嘱配置し、地域の実情に即した効果的な交通安全運動を推進するほか、交通安全に関する調査を実施し地域住民等に情報を提供しました。
- (2) デイ・ライト事業の点灯率調査
各地区交通安全推進員により、四半期ごとに1回(4月、7月、10月及び1月)、デイ・ライト運動の点灯率を調査し、調査結果を関係機関・団体に提供をして、実施率の向上と一般ドライバーの参画意識の向上を図り交通安全意識の高揚に努めました。
- (3) 交通安全推進員の研修
交通安全推進員研修会
交通安全推進員14名を対象に研修会を開催し、事業概要、交通安全運動の推進要領の確認を行い、更に交通安全運動の取組み方や活動事例について研修しました。
・4月25日 札幌市(第二北海道通信ビル)

3 広報事業

- (1) 交通安全総決起大会

秋の全国交通安全運動行事の一環として、「2019交通安全道民総決起大会」を開催し、交通事故防止を訴えました。

・9月20日 札幌市（共済ホール） 400名参加

(2) 新聞紙面を活用した広報活動

正会員である新聞社と連携し、交通安全に関する自主的取組を積極的に支援し、新聞紙面を活用した広範な広報活動を推進しました。

新聞社名	新聞掲載日
朝日新聞社北海道支社	12月22日、12月24日
読売新聞北海道支社	9月21日
北海道日刊スポーツ新聞社	6月23日、7月10日、7月13日、9月18日、9月21日、9月25日、9月27日、11月10日、11月11日、11月14日、11月15日、11月18日

(3) 広報啓発活動支援事業

当委員会における交通安全活動状況や、関係機関・団体の特色ある交通安全活動や地域話題を掲載した機関誌「ゆっくり走ろう北海道」を発行し、交通安全情報を提供して安全意識の高揚を図りました。

・8月、1月発行 各11,000部

(4) 交通安全ニューメディア啓発

ホームページを適時更新し、広範な交通安全情報を提供して安全運動に対する理解と協力を得ました。

(5) 飲酒運転根絶の日決起大会の開催

ア 7月13日の「飲酒運転根絶の日」を広く道民に周知するとともに、道民一人ひとりに飲酒運転の根絶に向けて、「飲酒運転をしない、させない、許さない」という規範意識の醸成を図るため、全道14ヶ所（振興局管内）において「飲酒運転根絶の日決起大会」を開催し、飲酒運転根絶を訴えました。

イ 飲酒運転根絶の日を周知するとともに、一年を通して飲酒運転根絶事業の普及啓発をするチラシやポスター等を作成・配布しました。

・チラシ 75,000枚、ポスター 16,000枚

ウ 飲酒運転根絶ロゴマークを、通年運動や期別運動で作成するポスター、チラシなど啓発資材等に掲載するなどして、ロゴマークの効果的な活用を推進するとともに、関係団体や企業等の積極的な活用を促進しました。

(6) 地域連携型飲酒運転根絶事業の実施

ア 飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクールの実施

道内の高校生から飲酒運転根絶メッセージを募集し、そのメッセージを活用して啓発活動を実施することで、飲酒運転を見逃さないという社会全体の意識の醸成を図りました。

・募集期間 9月1日～10月31日

・応募作品 336作品

・受賞作品 最優秀賞1作品、優秀賞2作品、佳作8作品

イ 教育機関と連携した啓発活動の実施

11月28日、旭川大学において飲酒運転根絶等に関する講義やDVDの上映を実施しました。

ウ 飲酒運転根絶宣言店飲食店等の登録制度の創設

旭川市において飲酒運転根絶に関する取組を宣言する飲食店及び酒類販売店等の登録制度を創設し、宣言店を募集しております。

エ 報道機関と連携した広報活動の実施

①「飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール」で受賞したメッセージをラジオ媒体においてスポット放送し、飲酒運転根絶を訴えました。

・12月～3月 40回放送

②「飲酒運転根絶宣言店飲食店等の登録制度」等を旭川市内の広告媒体「ライナー」において、広告掲載し、飲酒運転根絶の浸透を図りました。

・2月、3月 各月1回掲載

4 表彰事業

(1) ゼロ運動顕彰

交通事故死ゼロ継続期間が、基準日数に達した市町村の交通安全推進委員会等を表彰しました。

月別	市町村名（日数）	市町村計
4月	歌志内市(3,000) 浜頓別町(2,000) 共和町(1,000) 東神楽町(1,000) 今金町(700) 占冠村(700) 芦別市(500) 砂川市(500) 厚岸町(500)	3市5町1村 (9市町村)
5月	真狩村(3,000) 沼田町(2,500) 赤平市(2,000) 新篠津村(1,000) えりも町(1,000) 鷹栖町(700) 雄武町(700) 大樹町(700) 幕別町(700) 日高町(500) 新冠町(500)	4市12町2村 (18市町村)

	佐呂間町(500)湧別町(500)浦幌町(500)中標津町(500)三笠市(300)登別市(300)北斗市(300)	
6月	長万部町(1,500)初山別村(1,500)枝幸町(1,000)弟子屈町(700)滝川市(500)恵庭市(500)松前町(500)音更町(500)芽室町(500)白糠町(500)標津町(500)岩見沢市(300)美唄市(300)伊達市(300)富良野市(300)根室市(300)	7市8町1村 (16市町村)
7月	上富良野町(3,500)訓子府町(2,500)雨竜町(1,500)乙部町(1,500)下川町(1,500)和寒町(1,000)厚真町(500)比布町(500)	8町 (8町)
8月	北竜町(4,500)神恵内村(4,000)月形町(1,500)むかわ町(1,000)洞爺湖町(700)網走市(700)妹背牛町(500)千歳市(500)	2市5町1村 (8市町村)
9月	西興部村(9,000)島牧村(5,500)古平町(5,000)浦臼町(3,500)由仁町(1,500)江差町(1,500)清里町(1,000)新十津川町(700)八雲町(700)士別市(700)美瑛町(700)大空町(700)広尾町(700)夕張市(500)福島町(500)遠別町(500)深川市(300)室蘭市(300)留萌市(300)	5市12町2村 (19市町村)
10月	上ノ国町(4,000)幌延町(3,000)寿都町(2,500)知内町(2,500)東川町(2,000)遠軽町(1,000)砂川市(700)せたな町(700)厚岸町(700)小樽市(200)釧路市(200)	3市8町 (11市町)
11月	泊村(4,000)足寄町(3,000)ニセコ町(1,500)壮瞥町(1,500)羽幌町(1,500)士幌町(1,500)日高町(700)中標津町(700)蘭越町(500)津別町(500)清水町(500)更別村(500)羅臼町(500)名寄市(300)	1市11町2村 (14市町村)
12月	興部町(4,500)小清水町(2,000)当麻町(1,500)滝上町(1,500)鶴居村(1,500)七飯町(1,000)苫前町(1,000)利尻富士町(1,000)置戸町(1,000)滝川市(700)新冠町(700)佐呂間町(700)湧別町(700)美唄市(500)三笠市(500)喜茂別町(500)登別市(500)剣淵町(500)美深町(500)中頓別町(500)豊富町(500)斜里町(500)	4市17町1村 (22市町村)
1月	愛別町(1,500)中富良野町(1,500)上川町(1,000)厚真町(700)比布町(700)標津町(700)森町(500)豊頃町(500)根室市(500)北広島市(300)小樽市(300)稚内市(300)	4市8町 (12市町)
2月	礼文町(3,500)黒松内町(2,500)奥尻町(2,500)今金町(1,000)鷹栖町(1,000)占冠村(1,000)	5町1村 (6町村)
3月	鹿部町(2,000)陸別町(2,000)豊浦町(1,500)雄武町(1,000)大樹町(1,000)妹背牛町(700)岩内町(500)猿払村(500)鹿追町(500)室蘭市(500)北斗市(300)	2市8町1村 (11市町村)
4月から3月まで延べ35市107町12村(計154市町村)を表彰		

(2) 交通安全運動支援寄付表彰

- ア 5月21日、空知建設産業安全大会に吉野筆頭副会長(当時)が出席し、一般社団法人空知建設業協会より143,000円(交通遺児育英事業と合わせると286,000円)受納し、感謝状を贈呈しました。
- イ 7月22日、全国共済農業協同組合連合会北海道本部より683,802円、11月20日に616,198円の計1,300,000円を受納し、12月3日に渡辺筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。
- ウ 9月6日、全日空空輪株式会社(ANAオープンゴルフトーナメント大会)より300,000円(交通遺児育英事業と合わせると500,000円)受納し、渡辺筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。
- エ 9月26日、第40回建設産業交通安全全道大会に渡辺筆頭副会長が出席し、建設産業交通安全推進北海道本部より、500,000円(交通遺児育英事業と合わせると1,000,000円)受納し、感謝状を贈呈しました。
- オ 1月19日、小林豊子きもの学院新年交礼会に渡辺筆頭副会長が出席し、小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会より150,000円(交通遺児育英事業と合わせると300,000円)受納し、感謝状を贈呈しました。
- カ その他、八剣山パークゴルフ場などから寄付金を受納し、感謝状を贈呈しました。

(3) 指導員・奉仕員表彰

永年にわたり交通安全運動推進のため活躍した交通安全指導員、交通安全奉仕員24名を表彰しました。(表彰式 令和2年2月3日 道庁別館地下1階大会議室)

(4) 母の会会員表彰

永年にわたり子供や高齢者等に対する交通安全活動推進のため活躍した、交通安全母の会会員9名を表彰しました。(表彰式 令和2年2月3日 道庁別館地下1階大会議室)

(5) 一般表彰

地域又は職域等において交通安全推進のため顕著な活動をした1個人・4団体を表彰しました。(表彰式 令和2年2月3日 道庁別館地下1階大会議室)

第2 交通安全活動支援事業(公益目的事業2)

平成31年における交通安全運動の推進方針と連動し、地域・職域・学校等へ交通安全啓発等に対する支援を行いました。

1 交通安全啓発支援事業

(1) 広報啓発活動支援事業

交通安全運動の推進を図るため、啓発資材を作成・配布して交通安全意識の高揚を図りました。

- ・ポケットティッシュ 110,000個

(2) デイ・ライト運動推進事業

デイ・ライト運動の浸透・定着を図るため、デイ・ライト運動の主旨を広報車用音声データに取り入れ、その推進に努めました。

(3) 自転車の交通事故防止事業

新小学生・新中学生及び新高校生を対象に、「自転車安全利用五則」等を盛り込み、生徒をはじめ、その保護者や指導者にも役立つ内容の「自転車安全啓発リーフレット」を作成・配布し、自転車利用時の安全運転意識の向上や、マナーアップを図りました。

- ・リーフレット(小学生用) 46,000枚【新1年生】
- ・リーフレット(中学生用) 32,000枚【新1年生】
- ・リーフレット(高校生用) 35,000枚【新1年生】

(4) 期別運動

ア 春、夏、秋及び冬の4期40日間、関係機関・団体と連携し、交通安全運動の重点を中心に集いや総決起大会の開催、街頭啓発を活発に展開しました。

運動の種類	運動期間	主要行事
春の全国交通安全運動	5月11日～20日	安全安心なまちづくり道民の集い(5月10日)
夏の交通安全運動	7月11日～20日	セーフティコール(7月11日) 飲酒運転根絶の日決起大会(7月13日)
秋の全国交通安全運動	9月21日～30日	2019交通安全道民総決起大会(9月20日)
冬の交通安全運動	11月11日～20日	セーフティコール(11月11日)

イ 各期の交通安全運動の重点等を周知させるため、交通安全運動ポスター・チラシ等を作成し、関係機関・団体等に配布しました。

種別	作成時期	作成部数
ポスター	夏、冬の交通安全運動用	各 9,200枚
チラシ	春、秋の全国交通安全運動用	各 28,000枚
	夏、冬の交通安全運動用	夏 51,000枚、冬 51,000枚

(※春と秋のポスターは、全国運動により内閣府で作成)

(5) 交通安全ライブラリー事業

ア 交通安全に関する視聴覚教材(ビデオ・DVD)を各市町村交通安全推進委員会や各団体等に貸出して、安全意識の高揚を図りました。

- ・貸出件数260件 視聴者(延べ数)18,447名

イ 各種大会や交通安全パネル展で使用する交通安全パネル等を各市町村や各団体等に貸出して、安全意識の高揚を図りました。

(6) 交通安全啓発活動事業

ア 道民交通安全の日

毎月15日の「道民交通安全の日」には、関係機関・団体と連携し街頭啓発を実施のほか、交通安全旗の掲出や啓発資材を配布して、道民交通安全の日の周知と安全意識の高揚を図りました。

イ 無事故の日

6月25日の「無事故の日」には、全道各地の交通安全母の会を中心として、関係機関・団体等と連携しながら街頭啓発等を実施したほか、旗の波や啓発資材を配布して、無事故の日の周知と安全意識の高揚を図りました。

ウ バイクの日

8月19日の「バイクの日」に合わせて、二輪車の来訪が多いフェリーターミナルや観光地等で安全意識の高揚と事故防止を呼びかけました。

(7) 幼児の事故防止事業

幼稚園、保育所等で結成されている「こぐまクラブ」の活動を支援するため、クラブ活動状況を紹介する「こぐまクラブ活動の手引き」を作成し、道内全幼稚園、保育所等に配布して、交通安全意識の高揚を図りました。

- ・活動の手引き 2,100部

(8) 市町村広報活動の支援事業

市町村等の広報活動支援のため、イベントや街頭啓発時に広報するデータを作成し、全意識の高揚と事故防止を呼びかけました。

2 交通安全運動の展開（関係機関等との連携事業）

(1) 飲酒運転根絶運動

ア 平成27年12月に「北海道飲酒運転の根絶に関する条例」が制定されたこと等に伴い、条例等をホームページ等で周知を図っているほか、各種飲酒運転の根絶に向けた街頭啓発等へ協力をし、飲酒運転の根絶を呼びかけました。

イ 関係機関・団体等と連携し、歓楽街等における啓発や飲酒店への訪問活動で飲酒運転の根絶や飲酒した者が運転する車両への同乗禁止等を呼びかけているほか、酒酔いを実感できる飲酒疑似体験ゴーグルの貸出などを行いました。

(2) シートベルト全席着用

ア 関係機関・団体等と連携し、各期の交通安全運動や集い等で全ての座席でシートベルト・チャイルドシートの確実な着用を呼びかけました。

イ シートベルトやチャイルドシート着用の向上を図るため、街頭啓発等において、着用を呼びかけました。

(3) スピードダウン運動

関係機関・団体等と連携し、各期の交通安全運動期間や集い等でスピードダウンを呼びかけました。

(4) 居眠り運転防止

関係機関・団体等と連携し、夏の交通安全運動等で居眠り運転防止を呼びかけました。

(5) 交通安全の日等の運動

ア 新入学（園）期の交通安全期間

4月8日から12日までの5日間は、新入学（園）の交通事故を防止するため、啓発活動等を関係機関・団体等と連携しながら実施し、交通安全意識の高揚を呼びかけました。

・4月8日 札幌市立北光小学校前

イ 交通事故死ゼロを目指す日

道民の交通安全意識の高揚を図るため、関係機関・団体等と連携し「交通事故死ゼロを目指す日」の啓発を実施し、「交通事故死ゼロを目指す日」の周知と安全意識の高揚を図りました。

・5月20日 道庁赤レンガ庁舎前庭

・9月30日 道庁赤レンガ庁舎前庭

ウ 自転車安全日

毎月第1、第3金曜日の「自転車安全日」には、関係機関・団体等と連携し、歩行者保護、交差点の安全通行、子供のヘルメット着用等、マナーの向上と自転車の安全利用を呼びかけました。

エ その他の交通安全対策

① 札幌地区二輪車普及安全協会等による「第18回バイクにフレンドシップ in さっぽろ」において、関係機関・団体等と協力をしながら、啓発を実施し事故防止を呼びかけました。

・7月7日 道庁赤レンガ庁舎前庭 バイク100台参加

② 一般社団法人札幌電設業協会が主催する交通安全街頭啓発に参加し、事故防止を訴えました。

・9月25日 札幌市中央区大通東3丁目付近

③ 北海道交通安全指導員連絡協議会の主催で開催されたブロック別指導員研修会を後援し、交通安全指導員のための交通事故防止等の研修を行いました。

10月9日 帯広市	10月17日 江差町	10月25日 士別市	10月30日 岩見沢市
-----------	------------	------------	-------------

オ 各種キャンペーン・大会等と連動した運動

① 令和元年度工事着工期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動（後援）

・期間 5月1日～6月30日

・主催 建設産業交通安全推進北海道本部

② 第47回北海道青年祭兼第70回全道青年大会（協賛）

・期間 5月25日～26日・6月22日～6月23日

・主催 北海道青年団体協議会

③ 第54回交通安全子供自転車北海道大会（協賛）

・期日 6月30日

・主催 一般財団法人北海道交通安全協会

④ 第18回バイクにフレンドシップ in さっぽろ（後援）

・期日 7月7日

・主催 北海道、一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人日本二輪車普及安全協会、札幌地区二輪車普及安全協会

- ⑤ 第70回北海道女性大会（後援）
 - ・期日 9月2日
 - ・主催 北海道女性団体連絡協議会
- ⑥ 令和元年度ブロック別町内会活動研究大会（後援）
 - ・期日 9月10日・11日、9月19日・20日、10月23日・24日、11月22日・23日
 - ・主催 一般社団法人北海道町内会連合会、社会福祉法人北海道社会福祉協議会
- ⑦ 令和元年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール（後援）
 - ・期間 9月20日（審査）～10月（表彰式）
 - ・主催 農業協同組合、JA共済連北海道
- ⑧ HBCラジオ交通安全キャンペーン（後援）
 - ・期間 9月21日～12月17日
 - ・主催 HBCラジオ
- ⑨ 第40回建設産業交通安全全道大会（後援）
 - ・期日 9月26日
 - ・主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ⑩ 令和元年度工事追込期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動（後援）
 - ・期間 10月1日～11月30日
 - ・主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ⑪ 令和元年度交通安全指導員ブロック研修会（後援）
 - ・期日 10月9日、10月17日、10月25日、10月30日
 - ・主催 北海道交通安全指導員連絡協議会
- ⑫ 冬期違法駐車撲滅キャンペーン2020（後援）
 - ・期間 1月1日～3月31日
 - ・主催 読売新聞北海道支社、(株)読売エージェンシー北海道支社

3 交通事故防止支援事業（高齢者の交通事故防止事業）

- (1) 市町村や老人クラブ、交通安全母の会等と連携し、夜光反射材の有用性と効果を体験・認識することにより、反射材の普及促進と高齢者の事故防止を図りました。
- (2) 高齢者の死亡事故が多発している市町村を重点に、高齢者を始めとして、子供やその親が世代の垣根を越えて相手への理解と思いやりを深めながら自ら参加し、考え、学ぶ「世代間交通安全交流事業」を展開し、交通安全意識の高揚を図りました。
 - ・10月30日 札幌市北区 70名参加
- (3) 各市町村交通安全推進委員会が実施する「高齢者事故防止モデル事業」に必要な助成を行い、事故防止を図りました。

○助成先一覧

(単位：円)

助成先	事業内容	助成額
芦別市	安全教室等の開催と夜光反射材の配布	47,000
滝川市	各種夜光反射材の普及促進	10,000
砂川市	夜光反射材等の配布	24,000
雨竜町	交通安全教室の開催	6,000
札幌市	夜光反射材やチラシの作成・配布	100,000
江別市	夜光反射材やチラシの作成・配布	45,000
石狩市	夜光反射材等の配布	40,000
小樽市	講話及び夜光反射材の普及促進	12,000
共和町	講話及び夜光反射材の配布等	44,000
余市町	体験講習と夜光反射材の配布	10,000
苫小牧市	体験会等による夜光反射材の配布等	35,000
函館市	地域の老人クラブや病院での啓発活動	17,000
厚沢部町	交通安全講習会の開催等	5,000
士別市	講習会等の開催と夜光反射材の配布	16,000
中富良野町	パークゴルフ大会・安全集会での啓発	10,000
美深町	夜光反射材の配布	15,000
紋別市	世帯訪問、反射材の配布	39,000
美幌町	研修会・大会の開催	10,000
佐呂間町	夜光反射材やチラシの作成・配布	17,000

帯 広 市	講習会の開催	40,000
新 得 町	講習会の開催	24,000
更 別 村	講習会の開催	25,000
幕 別 町	夜光反射材の配布	10,000
標 津 町	夜光反射材の配布	10,000
合計：24市町村		611,000

【助成先の市町村名は「各市町村交通安全推進委員会」等です】

4 寄付金の受納

交通安全活動の支援のために、次の団体等から寄付金を受納いたしました。

寄付金合計 金2,588,831円

[内訳]

(単位：円)

団体等	金額	備考
全国共済農業協同組合連合会北海道本部	1,300,000	
建設産業交通安全推進北海道本部	500,000	公3事業と合計1,000,000円
全日本空輸株式会社	300,000	公3事業と合計500,000円
小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会	150,000	公3事業と合計300,000円
空知建設業協会	143,000	公3事業と合計286,000円
八剣山パークゴルフ場など	195,831	16件
合計	2,588,831	21件

第3 交通遺児育英事業(公益目的事業3)

1 奨学金の貸付

中学生、中等教育学校生、高等学校生、高等専門学校生及び専修学校生(高等課程・専門課程)を対象に、令和2年3月末日現在で、奨学生6人(高校生6人)に貸付を行っております。

(昭和51年から実施 381件 貸付総額218,775,000円)

(1) 資金造成事業

黄色い羽根街頭募金運動のための羽根を作成し、募金実施市町村へ配付しました。

・羽根 5,000本

(2) 広報啓発活動事業

機関誌「フレンドリー通信」を9月に1,600部、3月に2,000部発行しました。

(3) 称賛事業

ア 寄付金の受納額 4,153,721円(寄付金(寄付・募金)、募金(羽根・箱)の合計)

イ 寄付者への感謝状等の贈呈

① 5月21日、空知建設産業安全大会に吉野筆頭副会長(当時)が出席し、一般社団法人空知建設業協会より143,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

② 9月6日、全日空空輸株式会社(ANAオープンゴルフトーナメント)より200,000円受納し、渡辺筆頭副会長から感謝状を贈呈しました。

③ 9月26日、第39回建設産業交通安全全道大会に渡辺筆頭副会長が出席し、建設産業交通安全推進北海道本部より500,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

④ 1月19日、小林豊子きもの学院新年交礼会に渡辺筆頭副会長が出席し、小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会より150,000円を受納し、感謝状を贈呈しました。

⑤ 北央道路工業株式会社より2,000,000円を受納し、3月13日に渡辺筆頭副会長から感謝状を贈呈しました。

⑥ その他、八剣山パークゴルフ場などから寄付金を受納し、感謝状を贈呈しました。

・黄色い羽根募金による寄付受納 413,321円(9件)

・箱募金による寄付受納 302,846円(82件)

・その他寄付受納 444,554円(24件)

ウ 寄付者の朝日新聞への掲載 掲載日6月30日

(4) 奨学金返還未納者調査

返還未納者を確認するため、電話及び手紙による催促を行っております。

2 作文募集事業

交通遺児奨学生を対象とした作文コンテストを実施しました。

・応募者 1名

3 特例奨学金制度に基づく給付状況

貸付金返還中の方のうち2名の方が、令和元年度中に貸付額の70%の返還に達し、当委員会から残りの30%に相当する額を給付し、返還を完了しました。

・給付額合計 金837,000円

第4 交通安全推進団体交付金事業

1 地区活動の充実

地区交通安全推進協議会の運営と地区管内の交通安全運動の推進に係る支援を行い、その充実を図りました。

2 地区交通安全独自活動への支援

地区交通安全推進協議会が地域の実情にあった独自の交通安全活動を支援するため、必要な助成を行い、事業の推進に努めました。

地 区	事業名
空 知	秋の輸送繁忙期交通安全運動
石 狩	高齢歩行者・高齢運転者の事故防止啓発活動
後 志	春の新入学（園）期の交通安全運動
胆 振	春の行楽期及び輸送繁忙期街頭啓発における交通安全用チラシ作成・配布事業
日 高	飲酒運転根絶対策事業
渡 島	ピカッ！と交通安全 in カルチャーナイト
檜 山	新成人・新入学児童に対する啓発活動
上 川	高齢者等重点対策事業等
留 萌	オロロンライン交通安全特別啓発事業
宗 谷	交通死亡事故抑止事業
オホーツク	こどもと高齢者の事故防止事業
十 勝	交通事故死ストップ十勝百日作戦
釧 路	夏の行楽期の交通安全キャンペーン及びバイクの日
根 室	7大キャンペーンの展開と交通安全教育の普及

3 母親交通安全活動の強化

北海道交通安全母の会の事務局業務を展開するほか、自主的に実施する交通安全事業を支援するために必要経費の一部助成を行い、主に次の事業を実施しました。

ア 「無事故の日」の啓発

イ 北海道交通安全母の会研修会の開催

・10月24日 札幌市（第二北海道通信ビル） 38名参加

ウ 交通安全啓発活動の支援

交通安全母の会が実施する啓発活動時に必要な啓発資材を作成・配布して活動の支援を行いました。

第5 管理事業(法人会計)

1 社員総会の開催

(1) 日 時 令和元年6月7日 14時00分～14時40分

(2) 場 所 札幌市（ホテルポールスター札幌）

(3) 来 賓

北海道環境生活部長 築地原 康 志 様

北海道議会議長 村 田 憲 俊 様

北海道警察本部交通部長 高 倉 孝 司 様

北海道教育委員会学校教育監 土 井 寿 彦 様

(4) 会員総数 259会員

出席会員 214会員（うち委任状176会員）

(5) 議題

報告事項

第1号報告 令和元年度事業計画書及び収支予算書の件

決議事項

第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告承認の件

第2号議案 役員の補充選任の件

2 理事会の開催

【第1回】

- (1) 日 時 令和元年5月16日
- (2) 決議事項 平成30年度事業報告及び決算報告の承認について
- (3) 決議内容 定款第37条の規定に基づき理事の全員が書面により同意

【第2回】

- (1) 日 時 令和元年6月7日 13時15分～13時35分
- (2) 場 所 札幌市（ホテルポールスター札幌）
- (3) 出席者
 - 理事総数 29名
 - 出席理事 21名
 - 出席監事 2名
- (4) 議題
 - 報告事項
 - 第1号報告 交通遺児奨学部会委員選任の件
 - 第2号報告 交通遺児奨学部会決議事項の件
 - 第3号報告 交通遺児奨学金制度の充実強化の件
 - 第4号報告 平成30年度特定資産運用結果の件
 - 第5号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件
 - 決議事項
 - 第1号議案 特別会員の入退会の件
 - 第2号議案 役員の補充選任の件

【第3回】

- (1) 日 時 令和元年6月7日 14時45分～14時55分
- (2) 場 所 札幌市（ホテルポールスター札幌）
- (3) 出席者
 - 理事総数 30名
 - 出席理事 19名
 - 出席監事 2名
- (4) 議題
 - 決議事項
 - 第1号議案 筆頭副会長及び副会長の選任の件
 - 第2号議案 常勤役員報酬の件
 - 第3号議案 事務局長承認の件
 - 第4号議案 交通遺児奨学部会委員選任の件

【第4回】

- (1) 日 時 令和元年8月6日
- (2) 決議事項 令和元年度事業計画書（変更案）及び収支補正予算（案）について
- (3) 決議内容 定款第37条の規定に基づき理事の全員が書面により同意

【第5回】

- (1) 日 時 令和2年3月13日
- (2) 決議事項
 - ア 令和2年度特定資産運用計画の件
 - イ 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件
 - ウ 交通遺児奨学金制度の件
 - エ 令和元年度収支補正予算（案）の件
 - オ 令和2年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の件
 - カ 令和2年度役員改選の件
 - キ 令和2年定時社員総会の日時及び場所並びに目的事項の件
- (3) 決議内容 定款第37条の規定に基づき理事の全員が書面により同意

3 幹部理事会の開催

- (1) 日 時 令和元年11月21日 10時25分～10時50分
- (2) 場 所 札幌市（第二北海道通信ビル）

- (3) 出席者
構成員数 6名
出席理事 5名(会長1名、筆頭副会長1名、副会長3名)
出席監事 1名
- (4) 議題
報告事項
第1号報告 令和元年度事業経過報告の件
第2号報告 令和2年度予算要求(北海道補助金)の進捗状況の件
第3号報告 交通遺児奨学金制度の件
協議事項
令和2年度役員改選(方針案)の件
今後の日程(予定)の件

3 交通遺児奨学部会の開催

【第1回】

- (1) 日 時 平成31年4月17日 13時25分～14時05分
- (2) 場 所 札幌市(第二北海道通信ビル)
- (3) 出席者
部会員総数 10名
出席部会員 7名
- (4) 議題
報告事項
第1号報告 平成30年度交通遺児奨学生への貸付・返還状況の件
決議事項
第1号議案 平成31年度交通遺児奨学生の採用の件
第2号議案 平成31年度奨学生返還免除の件(案)
協議事項
交通遺児奨学金制度の充実強化の件
その他
交通遺児育英事業寄付一覧表の件

【第2回】

- (1) 日 時 令和元年10月16日 13時30分～14時25分
- (2) 場 所 札幌市(第二北海道通信ビル)
- (3) 出席者
部会員総数 10名
出席部会員 8名
- (4) 議題
報告事項
交通遺児奨学部会委員の変更の件
協議事項
交通遺児奨学金制度の見直しに向けたこれまでの動きの件